



【小学1年生・2年生】

特 選 くじらぐものつてみたいならのたび

城西小学校1年 水田 大翔

(評) 青い空にぽっかりうかぶ白い雲。そこからわたしたちの住む地球をながめてみたい。

(彦根文芸協会 知野見 松子)

特 選 あめのひもしごとにくよおうさん

高宮小学校2年 杉原 采紗

(評) 雨の日も風の日も家族のためにがんばるお父さんへのあたたかなまなざし、この気持をなくさないでほしいと思います。ありふれた言葉の中にお父さんへの気づかいがしっかりと伝わってきた良い句でした。

(彦根文芸協会 知野見 松子)

準特選 おかあさんおなかぼんおちつくよ

若葉小学校1年 洞田 望宙

(評) だいききなお母さんの手が、やさしくてあたたかくてしあわせなひとときを「おなかぼんぼん」というあなたのことばでよく表現できていて、そのあとの「おちつくよ」でとてもいい作品になりました。

(彦根文芸協会 今井 和子)

準特選 ぼくのいえみんななかよくしています

佐和山小学校1年 石井 叶多

(評) かぞくがみんな仲よくしていることが、とてもうれしく、幸せなことだときがついて「なかよくしているよ」と言えたところが、すばらしいとおもいます。たいせつなかぞくのことをみごとに表現出来ました。

(彦根文芸協会 今井 和子)

準特選 ふゆやすみゆきだるまがしゃべったよ

城西小学校1年 奥村 丸富

(評) ゆきだるまを作っている。目も口も手もつくど、みんなと同じきもちになつて、なにかしゃべったと言うところがおもしろいですね。なにを言ったのかなあー。ゆきだるまの声がきこえてくるような、たのしい作品です。

(彦根文芸協会 今井 和子)

準特選 おちばがねおどっているよおちながら

城西小学校2年 北村 希実

(評)

赤や黄いろの葉っぱがおちてきます。
風といっしょにおどりながら、おちてくるようすを、わたしもいっしょにおどりたいようなきもちで見ているあなたが見えるようです。たのしい作品ですね。

(彦根文芸協会 今井 和子)

準特選 日曜日雨がふってるしよんぼりだ

河瀬小学校2年 小山 楓

(評)

外で元気いっばい遊びたいのに、雨がふっている。あなたのようなすを見ている空は、もうすぐ晴れてくれるかも知れません。
「しよんぼりだ」にあなたのきもちがいつぱい入っていていい作品になりました。

(彦根文芸協会 今井 和子)



佳作 がんばるぞおんがくかいだママがくる

稲枝東小学校1年 吉村 いろは

佳作 コウモリがトンネルの中ねているよ

河瀬小学校2年 藤野 柁斗

佳作 あおいそらくもおよいでたのしそう

佐和山小学校1年 川村 菜摘

佳作 さんまさんかわいそうだがおいしいな

金城小学校2年 劉 孝淳

佳作 音がく会はずかしいけどがんばるぞ

佐和山小学校2年 若松 采芽

佳作 パパといくどんぐりひろいよういどん

佐和山小学校1年 池田 季京

佳作 りっぱだなあの大きな木だーいすき

稲枝東小学校1年 山内 環

佳作 弟が歌っておどるおもしろい

城南小学校2年 高橋 みのり

佳作 あかとんぼかぞくみんなでおさんぽだ

若葉小学校2年 有馬 太陽

佳作 えんそくでたつまきみたいなかぜがきた

城東小学校1年 藤田 悠介

佳作 きこえるよむしのがっしょうひびいてる

稲枝北小学校1年 大西 祥司

入選 秋の空気もちがいいなとぼうかな

城西小学校2年 井上 紗来

入選 おちばがおちてできてく秋の道

城西小学校2年 馬場 彩加

入選 おいしいなできたてりょうりゆげがある

佐和山小学校1年 屋成 潤太郎

入選 なつやすみがっこうきたらあつかった

城西小学校1年 村田 大和

入選 クリスマスキょうがわたしのたんじょうび

城西小学校1年 瀧 美織

入選 秋の空雲がいつぱいわたみたい

城西小学校2年 中村 啓人

入選 おじいさんおいしいおこめありがとう

城西小学校2年 堀 智紗子

川 柳

入 選 なつやすみえんぴつくわえかんがえる
若葉小学校2年 山岡 蘭丸

入 選 かくれんぼとくいなのかなよつばはね
城西小学校1年 徳永 明李

入 選 あめのあとひかるみずたまきれいだな
佐和山小学校1年 神田 英渉

入 選 水曜日こけたよとてもいたかった
河瀬小学校2年 角野 涼太

入 選 はじまったパワーショベルががんばるぞ
稲枝東小学校2年 山田 大悟

入 選 きゆう食できらいなものを食べられた
河瀬小学校2年 関口 紗耶

入 選 さつまいも食べたなら心もホツカホカ
佐和山小学校2年 荒田 貫登

入 選 あまいかきなつにたべてもあきのあじ
佐和山小学校1年 垣谷 理公

入 選 秋の空木からはつばがふってくる
城西小学校2年 椿居 風雅

入 選 図書かんは本であふれるたからばこ
金城小学校2年 山本 真央

入 選 ママといくスoppもっておいもほり
佐和山小学校1年 松宮 やえ

入 選 おもしろいひつつきむしがくつつくよ
稲枝北小学校1年 滝 あおい

入 選 おんなのこなんですかあとはいてるの
佐和山小学校1年 加藤 嘉座

入 選 おにのめんつくってみたらこわかった
城西小学校1年 青山 ユキ乃

入 選 おつきさまだんだんきえるたいへんだ

若葉小学校2年 内藤 隼豊

入 選 すごいだろきょうのごはんくりごはん

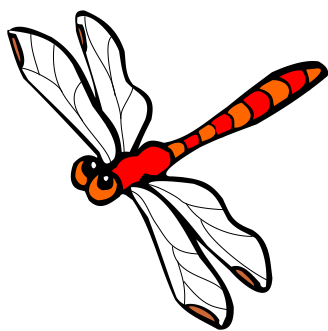
稲枝東小学校1年 薩 摩 杏

入 選 あそぼうよばったととんぼかまきりと

稲枝北小学校1年 黒木 一颯

入 選 赤とんぼあたまにのったうれしいな

鳥居本小学校2年 澤田 飛悠斗



【小学3年生・4年生】

特 選 四時間目どこからともなくいいにおい

城南小学校4年 齋藤 亮太

(評) 「忘れ物ない? いってらっしゃい」毎日の会話が終わり家を出ると、友達が待っている。学校に着き授業が始まるが、気分はちよつと一息。鼻に感じるいいにおい。次はおなかが活動しました。何でもない日常がとても、ユーモラス。

(彦根文芸協会 森口 ますこ)



準特選 だれだろろうしろをみるとおかあさん

稲枝北小学校4年 大木 陽仁

(評) 『フツ』と後に不思議な空気を感じる。そして振り向くとお母さんが。何でもない一瞬の出来事が実に心癒される句に出来あがりしました。本当にステキなお母さんと私。いい家族ですね。

(彦根文芸協会 森口 ますこ)

準特選 たのしいなカメがつれてもつりはつり

城東小学校4年 北川 瑛太

(評) 教わりながら釣り糸をたれ、じつと水面を覗いている。やつとウキが沈んで、手応え満点。釣りあげるとカメ。周りの大人たちは、笑いながら慰めてくれるが、そこは子供の意地。「釣りは釣りハハハ……。」楽しいですね。

(彦根文芸協会 森口 ますこ)

佳作 サンタさんになんちしようにならないで

金城小学校3年 川原 結衣

佳作 お友だちいっぱいあそびつまでも

城西小学校3年 上田 心音

佳作 待ってたよ楽しみだったコタツさん

城南小学校3年 山口 桜都

佳作 あさごはんにおいでおきるじぶんだよ

稲枝北小学校4年 柏本 春亜

佳作 やっぱりさかぞくといるとしあわせだ

稲枝東小学校4年 上林 由羽亜

入選 なつのひにせみとふうりんがつしようだ

城西小学校3年 青山 ゆづ希

入選 おにごっこ時間をわすれて走るんだ

城西小学校3年 藤原 良

入選 お兄ちゃんケンカするけどなかなかおり

城西小学校3年 西村 優乃

入選 くりひろいひろいすぎすぎこまったな

城西小学校3年 來住 柑那

入選 やったーほめてもらってうれしいな

城西小学校3年 林 実夢

入選 友だちができたよできた外国に

城西小学校3年 福原 みはな

入 選

たくさんの秋がいつぱいどれにする

城東小学校3年

藤野

玲華

入 選

雪だるまみんなで作ってまんぞくだ

城東小学校3年

田中

夢姫

入 選

やきいもだやくぞアチアチホックホク

稲枝東小学校4年

森

浩太

入 選

いもうととわらうまいにちたのしいな

稲枝東小学校4年

山田

萌夏

入 選

あいさつはしてもされてもうれしいよ

稲枝東小学校4年

吉田

果桜

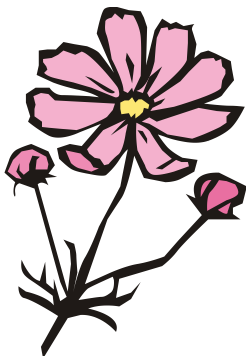
入 選

コスモスが風にゆられて名指揮者

佐和山小学校4年

横川

希海



【小学5年生・6年生】

特 選 夕日よりわたしの一步はかがやける

城東小学校5年 三須 麻友香

(評) 明日を約束するかのようには、美しい夕焼け。しかし作者は、「わたしの一步の方が素晴らしい」と言い切る。新しいことに挑戦しているのでしょうか。将来の希望に向かって真っ直歩んでいる、力強い一句になりました。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)



準特選 やさしさで心のバトンつなぎ合う

城東小学校5年 真杉 姫生

(評) 相手の気持になって、いつも友情を愛^あでる心がにじみ出ていて美しい。優しく接していると、心の中まで充実してきます。日本中が、世界中が笑顔でありたい、幸せでありますように。思いが伝わり、上手な表現です。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

準特選 本を読み広がる世界どこまでも

金城小学校5年 宮川 あかり

(評) 本を読むのが好きなのでしょう。嬉しく思います。むずかしい本、易しい本どれも良いのです。気に入ったものから読んで見ましよう。どんどん視野が開けます。日本のこと、世界のこと、沢山勉強してゆきましよう。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

準特選 ランドセル小さくなった六年生

稲枝東小学校6年 藤江 知夏

(評) 小学生になったときに買ってもらったランドセル。随分大きいと思っていた。六年間共に学んで、あちこちに、かなり傷が付いてきた。嬉しいことや悲しいことも知っているランドセル。別れの日が近い、ありがとう。

(彦根文芸協会 須田 さゆり)

佳作

帰ったらすぐにしちやお宿題を

稲枝東小学校5年

赤田

遥香

佳作

ありがとういつも優しいおかあさん

稲枝東小学校6年

平木

沙菜

佳作

おしゃべりは家族みんなでのしいよ

鳥居本小学校6年

北嶋

ほのか

佳作

部活はね楽しいけれど大変だ

若葉小学校6年

中内

蘭綾

佳作

家族にはなんでも話すひみつでも

稲枝西小学校5年

堀部

千穂

佳作

家族との笑い合う日は宝物

城東小学校5年

大平

萌々子

佳作

おりがみはおどろくようなまほうだね

若葉小学校5年

酒井

風香

入選

宿題はまだまだあるよがんばろう

稲枝北小学校5年

辰巳

咲寿音

入選

バスケットチームプレイがたいせつだ

稲枝東小学校5年

藤野

昂希

入選

朝ごはんはエネルギーあるごはんだよ

稲枝東小学校5年

西村

友蘭

入選

宿題を後にまわすと親はおに

稲枝東小学校6年

藤居

亮助

入選

こうすればああしろという母の声

城東小学校6年

木村

仁香

入選

せんそうをまなんだへいわきねんかん

平田小学校6年

永井

祐貴

入 選 家族にはなかなか言えない「ありがとう」

若葉小学校 6年 大久保 穂乃花

入 選 さんかんびそのときだけはふざけない

稲枝東小学校 6年 塚本 一樹

入 選 組体操痛かったけどチョー感動

城南小学校 6年 齋藤 梨花

入 選 家中に笑顔いっぱいうれしいな

城東小学校 6年 小野 ひなた

入 選 おとうとにいつもちよっかいおこられる

稲枝西小学校 5年 森下 翔

入 選 がっこうをきれいにしようピカピカに

稲枝東小学校 5年 浜野 美空

入 選 せきがえはみんなどきどきわくわくだ

平田小学校 5年 日夏 幹太

入 選 五郎丸いちやく人気あのポーズ

稲枝東小学校 6年 増田 翔人

入 選 お正月お金がほしくて仕方ない

若葉小学校 6年 汐満 純奈



【中学生】

特選 テスト前部屋の掃除をし始める

東中学校 2年 外村 由佳り

(評)

テスト前という緊張感とこんな時に何で掃除なのという組み合わせが面白い。何をしているのだと本人も分かっているけれど、もうやめられなくなる掃除。そうして、部屋は片づき、頭は勉強モードになってゆく、のだから、きつと。がんばれ。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

特選 ほら聴いてだれが欠けても出ない音

西中学校 3年 溝尾 萌華

(評)

合唱か合奏か、同じ場面を書いた句がたくさんある中で表現の巧みさが一番でした。みんなががんばったクラスの団結力や友情を誇らしげにうたった「ほら聴いて」。最高の音を響かせたことをいつまでも忘れないで下さい。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 窓からの景色が今だに慣れないな

稲枝中学校 1年 大園 翔香

(評)

窓からは木々の緑、青い空、風の通り過ぎるようすも見える。誰もがいい景色だと言うけれど、いつまでも心になじまない。この感覚は大事にしてほしいと思う。無理に慣れる必要はない。575にすれば特選でした。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 影の色笑ってみてもかわらない

南中学校 2年 北川 温子

(評)

影の色は心の色。影だから明るい色ではない。さびしく悲しい思いがうず巻いているようだ。そして、テレビのバカな番組にも、友達が楽しい話をしてくれても素直に笑うことができないようだ。こんな句を寄せてくれたことがうれしい。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

準特選 夏になりますます怖いお母さん

東中学校 匿名

(評)

夏休みになって三度の食事を用意しなくてはいけなくなり、夜は暑くて眠れない。勉強をするわけがなく、手伝いをするわけでもない中学生が目障りになって、つつい声を荒げるお母さんを見ている目が、優しい。

(彦根文芸協会 重森 恒雄)

佳作 ばあちゃんとしやべつていたら日が暮れた

南中学校 2年 鈴木 ひより

佳作 もういやだきみがどんだんさきへゆく

中央中学校 1年 塚本 青空

佳作 気をつけろきつとそこにはやつがいる

西中学校 3年 善積 諒太

佳作 先生が「事件だ事件」と大さわぎ

東中学校 2年 中本 神音

佳作 まいにちのえがおでぜんぶきまります

稲枝中学校 1年 寺倉 純平

佳作 季節ごとに暖かい風楽しいよ

西中学校 1年 酒井 来夢

佳作 のぎへんといとへんまちがえなきそうだ

立命館守山中学校 3年 森口 知愛

佳作 じてんしゃをこいでいくあさしろいき

稲枝中学校 1年 川村 美雨



入 選 バス停はいまでも人をまつている

西中学校 1年

丸野 萌

入 選 放課後の校舎に響く音色かな

中央中学校 1年

江原 和希

入 選 次々と実力テストがやってくる

南 中 学 校

匿名 名

入 選 朝稽古床が冷えるが不動心

稲枝中学校 1年

田中 優希

入 選 さつまいも秋刀魚に栗が食べたいな

稲枝中学校 1年

安居 勝馬

入 選 友達の家で遊んでいたらもう暗い

南中学校 2年

上田 尚弥

入 選 友達はときどきうざく頼もしい

稲枝中学校 1年

大音 志真

入 選 高い空赤いはつぱが舞い上がる

南 中 学 校

匿名 名

入 選 赤い道広がる海にできあがる

鳥居本中学校 1年

西村 佳起

入 選 冬休みだらだらしてもいいんだよ

稲枝中学校 1年

梶山 竜成

入 選 心の目温まるまで手をつなぐ

南中学校 3年

澤田 八喜

入 選 ゆうやけはキレイにしずむものなのだ

中央中学校 1年

北野 愛梨

入 選

その笑顔あなたのほんとの顔ですか

稲枝中学校 1年

鈴木

もも

入 選

ふるえる手みんなの息が白くなる

西中学校 1年

山田

安純

入 選

のんびりとやすみをすごすこしひま

稲枝中学校 1年

川村

涼

入 選

仲がいい無駄に団結するほどに

西中学校 3年

藤井

璃空

入 選

暇な時暇な時こそ忙しい

東中学校 2年

富永

泰地

入 選

サッカーをとてもたのしくやってるよ

中央中学校 1年

中川

天志

【総評】

子ども文芸作品が始まって六年になります。「夏休み文芸ワークショップ」で勉強している小中学生たちは、川柳と俳句の違いがほとんど分かってきています。しかし学年が進むに連れて、勉強や部活動などで忙しく、時間が取れないのが現実でしょうか。今年度川柳部門では、応募数が減少しました。

力強い句、優しさ溢れる句、心に残る豊かな句などがあり、一句一句丁寧に読ませていただき、嬉しく思っております。反面、昨年も述べておきましたが、全て平仮名で詠まれている句が、非常に増えてきています。平仮名で詠まれると、表現力が乏しく、思いが伝わらない結果を招くこととなります。忘れた漢字は、辞書を引く事をお勧めします。また、学校ごとに、同じような句が多いのが現実ですが、もう一度、自分自身を見つめ直してください。日記のように、そのまま出来事を書くのではなく、思いを川柳の言葉で挑戦してください。来年度は、若さ溢れる素晴らしい句を切望しております。

(彦根文芸協会

須田 さゆり)